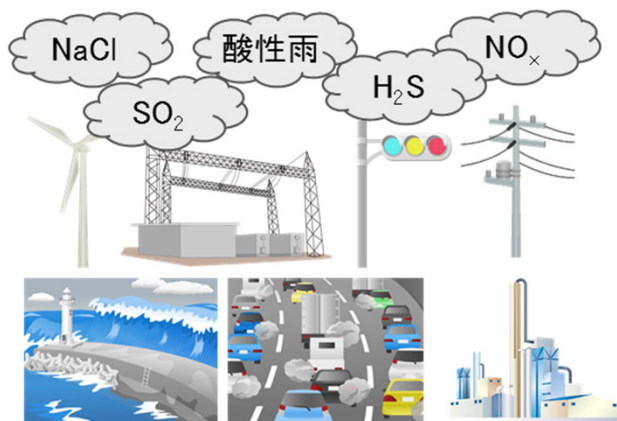


エコチェッカ SUN

屋外設備や構造物の保守管理に必要な「その場所の腐食環境」を調査します。

鉄塔、架線など屋外設備の大敵である腐食。
長期間設備を維持するためには、適切な保全計画を立案・実施する必要があります。
しかし、腐食の原因物質である海塩粒子や酸性雨、大気汚染などは場所により千差万別です。



→「エコチェッカ SUN」でその場所の腐食環境を把握し、保全計画にご活用ください。

屋外腐食環境診断キット「エコチェッカ SUN」の特長

エコチェッカ SUN は、屋外における金属腐食診断のための大気暴露試験セットです。

■ 大気環境の腐食性を ISO 9223 に基づいて診断します

屋外大気の腐食性を分類する規格の一つに ISO 9223 があります。
本規格は、指定材質の金属試験ピースを1年間暴露した後の腐食減量で
その場所の腐食性をC1～CXの6段階に分類します。

「エコチェッカSUN」を用いてISO 9223 に基づく腐食性診断が可能です。

■ 多様な環境に暴露でき、しかも正確な腐食量を測定できます

過酷な屋外環境に一年以上暴露することを想定し、フレーム材質には
ステンレスを採用しています。また、フレームや設置設備からのもらい錆び
や電池作用といった課題に対し、高強度の絶縁性ワイヤーで試験ピースを
中空に固定することで解決しました。

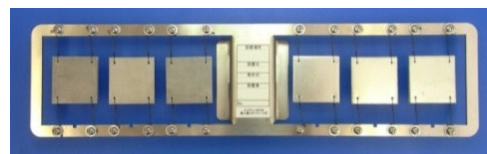
試験ピースは、試験片二枚を特殊な接着剤で貼り合わせることで
暴露面片面のみの腐食量を分析できるようになっており、腐食量を
正確に測定することができます。

■ ISO指定の金属以外にも対応します

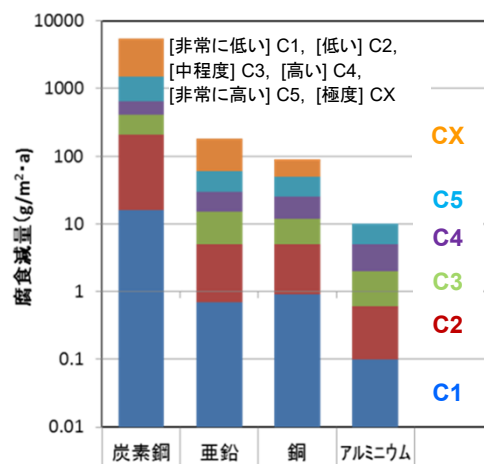
ISO9223 指定材質の炭素鋼、亜鉛、銅、アルミニウムを標準試験
ピースとして用意しています(40mm角)。他に劣化が懸念される材料が
ある場合、ご指定の材質の試験ピースを用意致します。

お気軽にご相談ください。

エコチェッカ SUNの外観と設置例



ISO 9223 の腐食カテゴリー分類



様々なニーズに対応する当社の腐食環境診断・対策技術

当社では、微量な硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素系ガスの影響を調査するための腐食性ガス診断キット「エコチェッカ II」、海塩粒子などの塩害成分を調査するための堆積・浮遊塩分調査キットの他、材料分析による腐食トラブルの原因解析、腐食環境対策ツールなど様々な大気環境の腐食性診断・対策ニーズに対応する技術を準備し、腐食トラブルの未然防止と対策を通じてお客様の大切な業務を守ります。

■ エコチェッカ II

-主に屋内大気の腐食性を診断

- ・多点同時にスクリーニング
- ・大気暴露中の腐食を積算して評価
- ・蛍光X線やカソード還元などの追加分析で、金属の腐食度合いを目安濃度、腐食速度に換算して定量



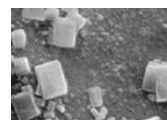
■ 環境中の塩害成分調査

-堆積・浮遊塵埃中の塩分量を分析します。

- ・JIS Z2382準拠のドライガーゼ法
- ・JEITA IT-1004B準拠の等価塩分量測定など、最適な調査方法を提案します。

堆積塵埃調査
＝拭き取り式（スミア式）

塵埃中の
塩分粒子



■ QCM腐食センサー

-腐食挙動の変化をモニタリング

- ・曜日や時間帯による腐食の変動を評価
- ・リアルタイムな腐食評価が可能（本品はレンタルでご提供しています）

腐食診断用QCM素子
⇒水晶振動子上に
金属薄膜を製膜

センサー
ユニット

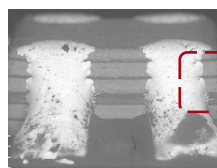


内蔵

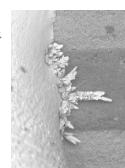


■ トラブルの原因解析

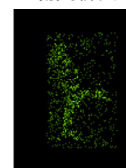
- ・機器・設備のトラブルと腐食の関連を、豊富な経験に基づく材料分析で明らかにします。



EDX分析



硫黄析出



ご利用上の注意

- キットの屋外設置に際しては、お客様にて周囲の安全に十分ご配慮下さりますようお願いいたします。
- 屋外暴露を前提に耐久性を考慮した材料・構造を採用していますが、設置期間や天候（台風など）によっては破損の可能性がありますのでご了承ください。

上記に関わらず、ご要望・ご相談がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

メニュー

お問い合わせ先

ユーロフィンFQL株式会社

エコチェッカ、腐食環境診断・対策に関するご相談

<https://www.eurofins.co.jp/efql/ecochecker>

9時～17時 土・日・祝日・当社指定の休業日を除く